

3:13 「あなたがたはわたしにかたくななことを言う。」と主は仰せられる。あなたがたは言う。「私たちはあなたに対して、何を言いましたか。」

3:14 あなたがたは言う。「神に仕えるのはむなしいことだ。神の戒めを守っても、万軍の主の前で悲しんで歩いても、何の益になろう。」

3:15 今、私たちは、高ぶる者をしあわせ者と言おう。悪を行なっても栄え、神を試みても罰を免れる。」と。

3:16 そのとき、主を恐れる者たちが、互いに語り合った。主は耳を傾けて、これを聞かれた。主を恐れ、主の御名を尊ぶ者たちのために、主の前で、記憶の書がしるされた。

3:17 「彼らは、わたしのものとなる。・・・万軍の主は仰せられる。・・・わたしが事を行なう日に、わたしの宝となる。人が自分に仕える子をあわれむように、わたしは彼らをあわれむ。」

3:18 あなたがたは再び、正しい人と悪者、神に仕える者と仕えない者との違いを見るようになる。

前半は神に従わない者の屁理屈が表されています。「神に仕えるのはむなしい…何の益になろう」というのです。確かに「悪を行っても栄え、神を試みても罰を免れる。」と感じることもあります。それは一時的であり、また表面的です。そのような悪は習慣化してしまい、誰からも尊敬されなくなり、味方を失い、自分自身の人生に平安がなくなってしまう。それは世の中の法則ですが、さらには神ご自身からの祝福を失ってしまうのです。

クリスチャンであっても、中には良識的な生き方を失ってしまう人もいますし、救われた者の最低限の歩みをもしていない人もいますが、私たちお互い

は「かたくな」にはならないようにしましょう。

一方「主を恐れる者たち」は、主の「宝」でえあり、主に「あわれ」んでいただけます。「主に仕える者」と「仕えない者」とは明かに違いますから、心定めて生きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

